



萌木

11月



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和7年11月21日発行

～自尊・立志・感動～

一人では得ることができない大きな成長

校長 山田 勝

10月の本校の合唱コンクールから1ヶ月ほど、はしうち教室の総合文化祭から3週間ほど経ちました。どちらも多数の保護者の皆様にご参観いただきました。また、合唱コンクールではPTAの皆様にも受付・案内等お手伝いいただきました。ありがとうございました。

生徒たちが行事を成功させることを目指して協力し取り組んできました。その成果をグリーンホールで、また大町体育館という環境の整った舞台で披露する機会でした。生徒たちの発表の受け取り手として保護者の皆様にも環境づくりにご協力いただきました。

「切磋琢磨」という言葉がありますが、生徒たちの本気がぶつかって成長に向かうとき、その力がさらに磨かれて大きく成長する、まさにその場面を表す言葉ではないかと思います。合唱や合奏など協力して取り組んだこの機会がまさにその通りの磨きあいの場になりました。それぞれの開会式のあいさつでは、そのことをその場で実感をしてもらいたいと願い話をしました。はしうち教室の総合文化祭でのあいさつを一部紹介します。

【前略】一人一人自分で自分のペースで取り組んだこと、仲間と一緒に制作をしたり練習したりして披露すること。たくさんの努力の上に今日を迎えています。製作・準備の過程で、困難や課題に行き詰まることもあったでしょう。でも隣を見れば、同じように頑張っている仲間の姿があったはずです。今周りの仲間を見てください。教室で頑張っていた姿を思い出せるでしょう。気持ちが落ち着きませんか。

共に頑張る仲間の姿は、あなたの勇気になるのと同じように、あなたの頑張りは仲間の勇気になっています。仲間の温かさや熱意を感じて、自分も頑張ろうという力に変換する。そしてそのような力を勝ち取ることができるのは、はしうち教室に集まって仲間とともに日々学んでいる大きな意味なのだと思います。

その仲間が隣にいます。これほど心強いものはありません。自信をもって発表してください。

この発表の場でみなさんが発表を通して伝えたい気持ち・メッセージを、保護者の方やご来賓の皆様と一緒に、校長先生も受け取りたいと思います。

みなさんも、発表や作品に込められている仲間の気持ちやメッセージをしっかり受け取りましょう。しっかり受け止められて、仲間との絆を深められれば、明日からのはしうちでの活動がもっと充実したものになります。はしうちに集まり共に学ぶ、その日々がさらに充実していくことを願っています。